

ベトナムにおけるコンビニ事業

岡山県ベトナムビジネスサポートデスク (I-GLOCAL To Ngoc Anh)

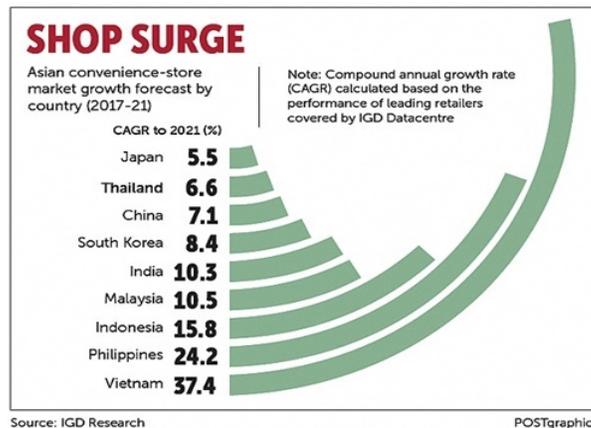
1. 初めに

2017年において、ベトナムには多くのコンビニエンスストアが開店した。近年、コンビニや小型スーパーマーケットの競争は激化しており、その影響が小売業全体に波及している。一方で、人口の増加やベトナム人の購買行動の変化などに伴い、コンビニは成長性の高さを見込まれ、ベトナムの小売業における魅力的な事業と評価されている。本レポートでは、ベトナムの小売業におけるコンビニの状況及び成長性を報告する。

2. ベトナムにおけるコンビニの状況

ベトナムは2016年時点においてGDP2,200億USD、人口9,200万人で、若年層が多いことから、日用消費財販売業にとって魅力的な市場である。アメリカの市場コンサルティンググループ A.T Kearney 社が発表するグローバル・リテール・デベロップメント指数 (GRDI) によると、ベトナムは2008年より参入魅力度の高い新興国30カ国の一つとなっており、2017年には第6位にランキングしている。商工局貿易研究所によると、2016-2020年における小売業の成長率は11.9%に達すると予想されている。

英国の調査会社 IGD によると、2021年におけるコンビニ事業の平均成長率は、ベトナムが37.4%、フィリピンが24.2%、インドネシアが15.8%となっている。



ソース: Bangkok Post/IGD Research

小売市場の高い成長性により、コンビニ、ショッピングセンター、スーパーマーケットなど現代的な小売業態が急増する見込みである。その中でもコンビニの特徴は、快適な施設、良好な顧客サービス、さまざまな必需品が揃うこと、特に生産地が明確な商品の提供である。住宅地域に位置する店舗付近では、消費者のニーズを満たすために、24時間営業しており、また、電気、水道、電話料金の支払いなどのサービスも提供している。特にホーチミン市とハノイ市では新規開店が続き、市場は好調に推移している。

2.1. コンビニ拡大

A.T Kearney 社市場調査グループによると、コンビニと小型小売店舗はベトナムにおいて最も急速に成長するセグメントになっている。現在まででファミリーマートは100店舗あり、2020年ま

でに 800 店舗以上となる予定です。セブンイレブンは 3 年以内に 100 店舗、10 年以内に 1,000 店舗を開店予定である。ベトナム資本の Vinmart+ コンビニ (Vingroup 社) は 2017 年末時点までに全国で 2,500 店舗となっている (2016 年末時点は 1,000 店舗)。

現状では、ハノイ市のコンビニ市場は VinMart+ に完全に押さえられている。一方、ホーチミン市では多くの店舗が展開しており、例えば日本の AEON Group のミニストップは市内中心部で広がりを見せている。サークル K や VinMart+ は多店舗展開により、パパママショップと呼ばれる伝統的小売店と直接的な競争となっている。日本で業界第 3 位のファミリーマートは、ホーチミン市郊外 (12 区、Go Vap 区、Thu Duc 区) において拡大している。また、2017 年後半になってセブンイレブンはベトナムのホーチミン市に開店し、現在 10 店舗になっている。

2.2. 投資家にとってのコンビニ経営課題

以上の成長の背景には、ベトナムのコンビニ事業へ参入する投資家が急増していることがあるが、そこには課題も存在する。

ベトナムにおいて、コンビニは最も急速に成長するセグメントである一方で、相対するライバル業態が多い。まず、スーパーマーケットや郊外の大型スーパーが挙げられる。これらの店舗では、ショッピングだけでなく、消費者が店舗内で広い空間と多様な商品からの選択ができる。

パパママショップをはじめとする伝統的小売店もライバルである。多くの場合は古くから営業している老舗で、ベトナム人の消費習慣に合致しており、全国各地にある。伝統的小売店からコンビニへ消費者の利用習慣を急激に変えることには、時間がかかるとされている。

また、外国投資家が投資した企業のコンビニ (Circle-K、B'mart、Ministop、Familymart、7-Eleven など) と国内資本企業によるコンビニ (Vingroup や Shop&Go など) の間の競争も、ますます激しくなっている。

外国投資家或いは外資系企業がコンビニの設立にあたって直面する問題は、ベトナム法に基づく小売店設立の難しさである。具体的にはコンビニ (小売店舗と呼ばれる) 設立の際に地域のエコノミックニーズテストを受けなければならない。そのため、店舗網拡大の目的で、投資家はフランチャイズによるコンビニ経営を選択することが多くなっている。

2.3. コンビニ事業の成長可能性

現在のベトナムでのコンビニの軒数は人口に比べ十分な店舗数があるとは言えない状況である。対人口比の軒数で言えば、2015 年の Nielsen ベトナムの統計によるとベトナムにおいては 69,000 人に 1 軒コンビニがある。台湾や韓国では約 2,000 人に対して 1 軒の割合であることや、収入が多い若年層が増加していることから、今後のコンビニ事業の成長が見込まれる。

さらに、ベトナム各地の都市化に伴いライフスタイルも変わり、コンビニは都市住民にとって適切な選択肢になると見込まれる。今後数年の間に、ホーチミン市とハノイの都市鉄道システムが稼動すると、需要は急速に増加しコンビニが急成長すると考えられる。

ベトナムのコンビニ事業は以上のように成長が期待されている。それに沿って、今後、外国投資家向けの法体系および市場メカニズムが変わっていく見込である。

3. 終わりに

以上のように、ベトナムに多くのコンビニが登場しているが、投資家は、ターゲットとなる顧客を特定し、明確な事業計画と戦略を立てる必要がある。とはいえ、全体的にベトナムは若年人口が多い上に消費需要が高いため、コンビニ事業の発展にとって魅力的で、世界の小売流通業界で最も活気のある市場の一つと考えられる。そのため、投資家は、ベトナムにおける市場シェアを取るため長期的な開発戦略を構築する必要がある。

4. 参考文献：

- 4.1. Báo cáo kinh tế vĩ mô, Hoàng Công Tuấn, MBS Vietnam Research (2016)
MBS Vietnam Research: Mr. Hoang Cong Tuan マクロ経済報告 (Dau Tu Chung Khoan、2016年12月28日)
<http://tinnhanhchungkhoan.vn/bcpt/mbs-bao-cao-kinh-te-vi-mo-2016-2979.html>
- 4.2. Bảng xếp hạng 30 nước đang đang phát triển có thị trường bán lẻ hấp dẫn nhất thế giới
世界で最も魅力的な小売市場がある新興国 30カ国のランキング (AT Kearney、2016年)
<https://www.atkearney.com/global-retail-development-index/rankings>
- 4.3. Thị trường bán lẻ: Cửa hàng tiện lợi lên ngôi (25/11/2017),
小売市場：コンビニの発展 (Tien Phong、2017年11月25日)
<https://www.tienphong.vn/kinh-te/thi-truong-ban-le-viet-cua-hang-tien-loi-len-ngoi-1211613.tpo>
- 4.4. Bùng nổ cuộc chiến cửa hàng tiện lợi ở Việt Nam (25/09/2017),
ベトナムにおけるコンビニの隆盛 (vietnambiz、2017年9月25日)
<http://vietnambiz.vn/bung-no-cuoc-chien-cua-hang-tien-loi-o-viet-nam-32793.html>
- 4.5. Toàn cảnh về cửa hàng tiện lợi tại Việt Nam (15/07/2017),
ベトナムにおけるコンビニの概要 (tapchibanle、2017年7月15日)
<http://tapchibanle.org/2017/07/toan-canhh-ve-cua-hang-tien-loi-tai-viet-nam/>
- 4.6. Cuộc chiến khốc liệt giành miếng bánh cửa hàng tiện lợi (news.zing、20/06/2017),
コンビニの悪戦苦闘 (2017年6月20日)
<https://news.zing.vn/cuoc-chien-khoc-liet-gianh-mieng-banh-cua-hang-tien-loi-post755284.html>
- 4.7. Cơ hội và thách thức mới với thị trường bán lẻ Việt Nam, Tạp chí Tài chính ngày 30/05/2017
ベトナム小売市場のチャンスと課題、ファイナンス雑誌、(tapchitaichinh、2017年5月30日)
<http://tapchitaichinh.vn/kinh-te-vi-mo/thi-truong-gia-ca/co-hoi-va-thach-thuc-moi-voi-thi-truong-ban-le-viet-nam-114109.html>
- 4.8. Dự báo thị trường bán lẻ Việt nam sẽ tăng trưởng 11.9%/năm (11/05/2017),
ベトナム小売市場の11.9%/年の成長予測、(infographics、2017年5月11日)
<https://infographics.vn/du-bao-thi-truong-ban-le-viet-nam-se-tang-truong-11-9-nam/6978.vna>
- 4.9. Thị trường cửa hàng tiện lợi Việt Nam tăng trưởng nhanh nhất châu Á (26/04/2017),
アジアにおいて最も成長しているベトナムコンビニの市場、(brandsvietnam、2017年4月26日)
<http://www.brandsvietnam.com/12232-Thi-truong-cua-hang-tien-loi-Viet-Nam-tang-truong-nhanh-nhat-chau-A>
- 4.10. Việt Nam thuộc top 30 thị trường bán lẻ mới hấp dẫn nhất (29/06/2016),
ベトナムは、最も魅力的な小売市場のトップ30に (cafef、2017年6月29日)
<http://cafef.vn/viet-nam-thuoc-top-30-thi-truong-ban-le-moi-noi-hap-dan-nhat-2016062907484274.chn>
- 4.11. Những mô hình bán lẻ phổ biến nhất hiện nay (27/03/2017),

人気のある小売業界 (tapchibanle、2017年3月27日)
<http://tapchibanle.org/2016/03/nhung-mo-hinh-ban-le-pho-bien-nhat-hien-nay/>